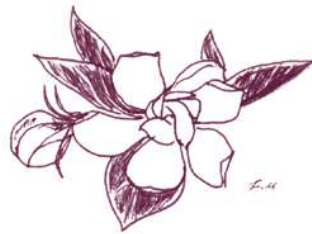


家族で子育て Q&A 18



Q 3歳の息子は、だめということをやをわざわざやって親を困らせます。どうしたらいいですか？

A 息子さんの言動に振り回されず、隠れた気持ちに思いを寄せて、寄り添ってあげましょう。

子供も持てあましている

幼児期はすでに親離れが始まっています。というところ驚くかもしれませんが、子育てそのものが親離れ、つまり子供の自立への過程なのです。

親にべったり依存していた時期から、3歳くらいになると、親（養育者）との愛着を基盤にしつつ、離れたり戻ったりを繰り返します。うまくいかなくても親の元に戻り安心すると、再び友達と遊ぼうとして外の世界に向かいます。これを繰り返しながら対人関係を広げるのです。それまでの親との愛着の度合

いが、3歳以降の子供の行動に現れてくるとされます。友達に手を出したり、思うようにならないとかんしゃくを起こしたりするのは、子供自身も傷ついている可能性があります。

子供がせがんできても叱ったり、話しかけてきても上の空でいたり、ということがなかったか、振り返ってみましょう。

気持ちを言葉にして

子供の心の傷は、小さいときほど修復しやすいものです。親に叱られても、子供は親のことが好きですから、親を困らせるようなことをしたら、チャンス

だと思って話を聞きましょう。

そして「本当はこうしたかったのね」「だから悔しかったのね」と、行動の背後にある気持ちを考え、共感し、言葉にしてあげましょう。すると子供は、これはへ悔しいという気持ちなんだと理解します。次からは「できないのて悔しい」などと言葉で伝えることができるようになります、次第に自分をコントロールする力が身に付きます。

叱ることで一時的に問題行動をやめさせても、親に従っただけです。同じことを繰り返さないためにも、子供の気持ちを尋ね、対応するようにしましょう。